

平成27年度市政懇談会会議録

開催日時：平成27年5月7日（木） 午後7時～午後8時

開催場所：市民プラザ ホール

参加者：161人

市側出席者：五十嵐市長、吉田副市長、徳江教育長

佐藤総務部長、福田企画部長、池田財政部長、松島市民部長、小池環境部長、
武井健康推進部長、三澤福祉部長、金子経済部長、鈴木建設部長、
内川都市計画部長、茂木中心市街地整備部長、毛呂公営事業部長、要田水道局長、
笠原消防長、吉澤経営企画部長（市民病院）、高橋会計管理者、石原議会事務局長、
古澤監査委員事務局長、越須賀教育部長

- 1 開 会 司会進行（企画調整課長）
- 2 特別職の紹介・市職員（全部長職）の紹介
- 3 市長あいさつ

皆様、こんばんは。市長の五十嵐でございます。本日は、夜分にもかかわらず、大変お疲れのところ、また、お忙しい中、平成27年度市政懇談会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様には、日頃から、市政全般について、暖かいご指導、ご支援、ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

この市政懇談会は、年度当初にあたり、本年度、市がどのような取り組みを進めていくかについて、具体事例を挙げながらご報告させていただき、また、皆様から、ご質問等を伺って、今後の市政運営に反映させていこうという趣旨のもとで開催するものです。

限られた時間ではありますが、スクリーンをご覧くださいながら、平成27年度の重点政策等について、ご説明させていただきます。

特に昨年以降、日本の抱える課題の中心は、人口減少対策だと言われております。このことを踏まえ、群馬県においても、何とか将来人口を保っていきたいということで進めていますが、本市は、直近の国勢調査等からも、人口は減っておらず、増えています。

しかしながら、今後は、本市にとっても、この人口を維持していくということが大きな課題になってくるだろうと思っておりますので、この先、21万の人口規模を決して減らさないためのまちづくりを進めていきたいと考えています。

4 重点政策の概要

(1) 平成27年度重点政策について <市長説明>

(2) 質疑応答 <特別職及び全部長職> (7:40～)

※質問及び回答の要旨を掲載しています。

◆地域コミュニティ活動事業補助金について

【質問】

非常に分かりやすい説明でしたので、よく理解できました。その中で、2つ目の重点政策「地域経済の活性化」の中の地域活動支援に、地域コミュニティ活動事業の補助というのがありましたが、これについて質問します。この補助については、各区から、非常に使い勝手が良いと伺っています。

地方創生の関係で、国から交付金が出るということですが、このような交付金があるのなら、30万円の地域コミュニティ活動事業の補助金を倍にさせていただくというわけにはいかないでしょうか。というのも、下道寺町は、調和のとれている非常に良い地区ですが、高齢化が進んでいるため、高齢者が多い状況です。今年の4月には、私も含めて75歳以上の人たちが40人から50人集まって、お花見をしたり楽しい1日を過ごさせていただきましたが、できれば、このような行事を年に1回でなく、頻繁に開けると、気持ちも明るくなり、高齢者が外に出掛ける機会も増え、健康に過ごせるのではないかと思います。高齢者が健康になることで、医療費の問題にも良い影響が出てくるのではないのでしょうか。対応できる方法はないのかお聞きます。

【回答】(市長)

ご質問ありがとうございます。そのようなご意見を他でも伺う機会がありますので、金額の増額については、これから検討してまいります。ご質問の中にありました国からの交付金についてですが、これは原則として、いわゆるハード面には使用できないという規制があったり、使い勝手が厳しい点があります。この助成事業について、昨年、一昨年の2カ年は、各町内でいろいろと報告を挙げていただきましたが、会議所の備品購入等、いろいろな事業に活用していただいています。そもそもこの助成事業は、物品購入等、いろいろなことに使っていただけるよう実施しているもので、市としてはあまり制約を設けていません。というのも、これは、国の補助事業ではなく、全て市の単独事業で行っているため、自由な制度設計でできたものです。国の交付金事業については、規制がかかっている部分もあるため、これが地域コミュニティ活動事業に活用できるかどうかとどうかと言えば、今のところ難しいと思います。しかしながら、このことについては、もっと使い勝手が良いものにしていただきたいという要望を国に挙げているところですので、今後も努力させていただきながら検討してまいります。

◆豊受地区の観光について

【質問】

ググッとぐんま観光キャンペーンの開催について話がありましたので、観光の関係でお聞きします。豊受地区には「まゆドーム」ができて以来、休日にはたくさんの来園者が訪れて、非常に活気があります。しかし、まゆドームだけでは少し規模が小さいと感じています。せっかく田島弥平旧宅が世界遺産になりましたので、まゆドームから境御嶽山等をつなげて、規模を大きくして田島弥平旧宅につなげるということができれば、他県から群馬へ、伊勢崎へ、豊受へ人が来るのではないかと思います。ぜひ、そのような観光開発をしていただきたいと思います。

【回答】（経済部長）

田島弥平旧宅の活用等について市長の説明にもありましたが、できれば田島弥平旧宅周辺に、伊勢崎市全域の観光案内看板等を設置していきたいと考えています。そのような中で、お話しいただいたまゆドームのある「子どもの森公園伊勢崎」、あるいは境御嶽山自然の森公園なども案内していきたいと考えています。

また、市民はもとより、県内県外の方々にも市の様々な施設を知っていただくようなPRも行っていきたいと考えています。今後は、観光協会とも話し合いながら、いろいろなPR方法を検討したいと思います。

【質問（続き）】

広瀬川と粕川の合流地点に吊り橋を架けたりすれば、境御嶽山へ行き来することができ、とても良いコースができるのではないのでしょうか。まゆドームを拠点としたコースをいくつか作り、自転車等で田島弥平旧宅へ向かえるような広範囲な観光開発をお願いしたいと思います。

【回答】（企画部長）

大規模な観光開発ということですが、広瀬川や粕川に橋を架けるといいう具体的な話については、今後の研究課題だと思っています。本市にとって、世界遺産に登録された田島弥平旧宅は、地域の資源ですので、これらを活用していきながら、日本中に、また、世界中に情報発信をしていきたいという思いで取り組んでまいりたいと考えています。

◆大人のひきこもり対策について

【質問】

福祉関係について質問します。障害者施設等については、市でもいくつかあると思いますが、最近では、ひきこもり等が増えていると思います。特に困るのが、大人のひきこもりです。そのような人たちは、なかなか自分から施設等には行けません。そういう人が社会に出られるよう手助けをする専門家等を派遣していただけるようになれば、福祉等に係る予算の削減にもつながるのではないかと思います。これは切実な問題です。

【回答】（企画部長）

ひきこもり対策は非常に重要な課題になっています。特にご高齢の方については、各地域で見守り等行っていただいたり、ミニデイサービス等の事業を町内で行っていただいています。そうした中でも、居場所作りが非常に重要になってくるのではないかと考えています。どこかに行って、誰かに何か話ができればそれが最も良いことなのですが、例え何かに参加したり、どこかの施設に行って何かをしたりということができなくても、居場所があれば良いのかなと考えています。今後、市としては、そのような取り組みを進めていかなければならないと思っています。専門家等の派遣については、そのような取り組みができるかどうか、県と連携し、相談しながら検討していきたいと考えています。

【回答】（市長）

補足させていただきます。相談体制については、なかなか市単独で実施するというのは難しいかと思っています。今、企画部長からも話がありましたが、群馬県では心の相談セン

ター等の相談窓口を設けていますので、これらと連携しながら、相談体制についての検討も進めたいと思います。

◆地震等災害対策について

【質問】

安心安全に関することですが、昨年、長野県の白馬村で大地震がありました。怪我をした人はいたようですが、亡くなった方はいなかったということでした。大規模な災害発生時に、どのように対応すべきか、伊勢崎市としても何か学ぶことがあったのではないかと思います。私は、サラリーマンの現役時代には避難訓練がありましたが、住民の避難訓練は経験したことがありません。この大地震から何か学んだことがあれば、ぜひお伺いしたいと思います。

【回答】（市長）

回答になるかわかりませんが、長野県の地震の際、特に注目されたのが、お隣やご近所同士の助け合いが密にとれていたという点です。

本市でも、自主防災組織作りということで、各町内にお願いしています。また、自主防災組織訓練については、毎年、全ての町内でというわけにはまいませんが、地区ごとに年に5カ所ほどで実施しています。ただ、これについては、かなり地区が広がるものですから、お隣同士、あるいは隣組同士で連携をいかにとっていただくか等、普段の連携が非常に大事ではないかと思っています。そのような意味合いで、まず1つの町内からコミュニケーションを、と考へ、地域コミュニティ活動事業の助成を始めた経緯もあります。これらの活動を通じて、各町内、ご近所同士が情報を共有しながら、万一の際には、互いに助け合うという形に結び付けられれば良いと思っています。また、今後もこのような活動に対する研究を深めてまいります。

◇閉会あいさつ（市長）

皆様には、本日、大変お疲れのところ、また、お忙しい中、市政懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

また、貴重なご意見等もいただきまして、ありがとうございました。

これからも、皆様と一緒に、元気で、豊かで、安全な伊勢崎を作ってまいりますので、引き続き、皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。本日は、大変ありがとうございました。